

---

# 第110回二科展 併催 第75回こども二科展

---

**企画提案書**

産経新聞社 事業本部

# 二科大阪展 並びにこども二科展について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、産経新聞社におきましては、毎秋、公益社団法人 二科会とともに大阪市立美術館にて「二科大阪展 併催 こども二科展」を開催しております。

二科会は、大正3年(1914年)に創立されました。明治期に移入した洋画は、草創期の動向が成熟して一段落し、次のステップに入る時点でした。この中、新旧の対立が顕著になり二科会が文展の旧守に飽き足らず、改革の旗を掲げ袂を分かって、第一回展を東京の上野竹之台陳列館で開いたのが同年10月1日でした。以来、在野公募展の雄として、その一貫した歩みは、文字通り、日本近代洋画の歴史に呼応しています。

アカデミズムと対極の場で、二科会が果たしたその役割は大きく、二科を大きな軸として、その後の芸術運動が、昭和5年の独立美術協会、昭和25年の行動美術協会など多様な枝分かれの中に開花しています。また戦後の昭和後期には、国際的な舞台でも活躍する画家たちが増えていきました。

会員には、梅原龍三郎、安井曾太郎、坂本繁二郎、熊谷守一、藤田嗣治といった高名な巨匠はもとより、石井柏亭、津田青楓、有島生馬、山下新太郎、正宗得三郎、鍋井克之、中川一政、宮本三郎、小山敬三、田崎広助、東郷青児といった近代洋画壇の重鎮たち、さらにそこには異才天才の名をうたわれる関根正二、村山槐多、萬鉄五郎、岸田劉生、佐伯祐三、古賀春江らも含まれ、また独立美術にわかれた児島善三郎、林武、野口弥太郎、高島達四郎らなどその他、画壇周知の洋画家の名前もあげられます。

2015年には100回展を迎え、記念回顧展も東京都美術館、大阪市立美術館、石橋美術館で開催されました。

併催展「こども二科展」は、西日本を中心に全国の幼稚園・保育園児、小中学生から寄せられた約15,000点の作品から、厳正な審査によって選ばれた約1,300点を前・後期に分けて展示。子どもの感性が光る愛らしい作品や、新鮮な色づかいの作品など、さまざまな個性あふれる作品を公開します。特に優秀なグループには二科ジュニア賞や産経新聞社賞などの賞を贈呈、入選した子供一人ひとりを表彰する式を行っています。

第105回展まで大阪市立美術館(大阪市天王寺区)で開催をしておりましたが、同館の改修工事に伴い、二科会前関西支部長の故・赤羽 恒男氏にゆかりある兵庫県尼崎市の尼崎市総合文化センターで、第106～108回展を開催しました。

前回の第109回展から、リニューアルオープンされた大阪市立美術館に会場を戻して開催いたします。

子どもから大人まで多くの鑑賞者が訪れる本展覧会は、貴社に絶好の広報・宣伝の場を提供できると考えております。つきましては、本展覧会へのご理解とご賛同を賜わり、ご協賛下さいますよう、宜しく願い申し上げます。

# 開催概要

- 《主催》 公益社団法人 二科会 産経新聞社
- 《後援》 大阪府 大阪府教育委員会 大阪市 大阪市教育委員会  
サンケイスポーツ 関西テレビ放送 ラジオ大阪（予定）
- 《協賛》 貴社
- 《協力》 サクラクレパス ロジコア
- 《内容》 絵画150点 彫刻5点  
デザイン130点 ポストカードデザイン150点  
写真140点 こども二科1300点（予定）
- 《会場》 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー
- 《会期》 第110回展会期 令和8年10月28日（水）～11月8日（日）  
※開催日は10月27日（火）からの可能性もあり。各所と調整中。  
※11月2日（月）は休館日
- 《開場時間》 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで） ※予定
- 《入場料》 一般 1000円 大・高校生 600円 中・小・幼 300円 ※予定  
※3歳未満は無料

## 過去の入場者数

(2024年)※10日間、尼崎市総合文化センター

月日	入場者数(人)
10月31日(木)	424
11月1日(金)	405
11月2日(土)	508
11月3日(日・祝)	2,603
11月4日(月・振休)	847
11月5日(水)	626
11月6日(木)	587
11月7日(金)	595
11月8日(土)	2,850
11月9日(日)	831
合計	10,276

※休館日1日間あり

(2025年)※11日間、大阪市立美術館

月日	入場者数(人)
10月29日(水)	700
10月30日(木)	518
10月31日(金)	434
11月1日(土)	823
11月2日(日)	2,859
11月3日(月・祝)	886
11月5日(水)	633
11月6日(木)	627
11月7日(金)	576
11月8日(土)	3,132
11月9日(日)	952
合計	12,140

※休館日1日間あり

## ご協賛メリット①

1. 本展覧会への〈協賛社〉として看板、HP等に貴社名を明記します。
2. 二科大阪展にて制作する展覧会目録**10,000**部に貴社広告スペース(裏表紙A4カラー1/2)を提供します。
3. 展覧会用のB2ポスター**1,000**枚、B3ポスター**4,000**枚、チラシ**20,000**枚、チケット**25,000**枚に貴社名を表記します。
4. 産経新聞をはじめ産経新聞グループの媒体による展覧会告知、パブリシティの際に貴社名を表記します。【掲載媒体】産経新聞、サンケイスポーツなどを予定
5. こども二科展の「審査行われる」の記事掲載、「二科展開幕」に関する記事掲載、「こども二科展表彰」に関する記事掲載などの際に、協賛社として貴社名を明記いたします。
6. 招待券300枚(1枚につき1名様までご入場可)をご提供します。
7. こども二科展の入選者(約1300名)へサンプリングの場をご提供します。※要相談
8. 会場内に貴社PRスペースを設置いたします。※要相談

## ご協賛メリット②

9. 会場内配布ブランケット(こども二科展入選者名簿、新聞片面サイズ)に貴社半5段広告を掲載いたします。



ご協賛料金 2,000,000円(税別)

# 第109回展 展覧会チラシ(実績)

NIKA  
109  
2025

## ART EXHIBITION

わが国の洋画壇の隆盛になって、幾多の変遷を繰り返しながら多くの巨匠を輩出し、後世に残る傑作を生んできたその歴史は日本近代絵画の歩みそのものといえます。現在では絵画、彫刻、デザイン、写真の四部門を有しその設立精神は脈々と受け継がれています。

令和7年10月29日(水)～  
11月9日(日)  
■入館時間 10:00～16:30  
■休 館 日 11月4日(火)  
**大阪市立美術館**  
地下2階 天王寺ギャラリー  
(天王寺公園内)

# 二科展

### 巡回大阪展

- 絵 画
- 彫 刻
- デザイン
- 写 真

●併催  
第74回子ども二科展  
全国Webポスターカード  
デザイン大賞



絵画「未来の地球」尾崎 功



絵画「フューロイド」尾崎 功



絵画「Shopping Street」尾崎 功



彫刻「世界の終り」尾崎 功



彫刻「世界の終り」尾崎 功



デザイン「ショッピングセンター」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



絵画「世界の終り」尾崎 功



絵画「世界の終り」尾崎 功



彫刻「世界の終り」尾崎 功



絵画「世界の終り」尾崎 功



彫刻「世界の終り」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功

### 第109回展 関西地区受賞者・推挙者

- 絵画部 上野の森美術館奨励賞・会友推挙／橋本加津江 会員賞／福富亮 会員推挙／森山誠子
- 彫刻部 彫刻の森美術館奨励賞／友藤雅 会員賞／本多紀昭
- デザイン部 A部門(自由テーマ・ポスター)＝特選賞／二松としみ、島野野矢、奥島真／笠野由明、佐藤美穂 B部門(特別テーマ・ポスター)＝農林水産大臣賞／二松としみ C部門(自由テーマ・イラスト)＝奨励賞／嶋山里美 D部門(フリス・スタイル)＝特選賞／花谷江津子、樹城玲 奨励賞／嶋山里美 B部門会員賞農林水産大臣賞／奥野美穂 C部門会員賞／笠原馨 会友推挙／花谷江津子、嶋山里美
- 写真部 トミカワ賞・会友推挙／羽根田裕子 フォトコン賞・会友推挙 西田由美子 トラボネット賞／田中真百合 奨励賞／秀平恵子 奨励賞初入選／高丸空花 会員賞／岡本正史 会友賞／谷村隆雄 会員推挙、三坂真一、松岡孝子 会友推挙、岡本真由美、水本博子、藤原純三、川井輝子、高橋文代、小山千恵子
- 絵画部ワンポイントアドバイス 二科展絵画部出品を希望される方のために二科会会員の審査員が作品についての疑問にお答えしアドバイスします(要参加費) 日時＝11月6日(水)13時～
- 写真部ギャラリーワーク 写真部会員が会場で作品解説を行います。 日時＝11月1日(土)・11月2日(日)13時～14時

### 第74回子ども二科展

- ◆急、小・中学校、個人の日 10月29日(水)～11月3日(月・祝) 11月2日(日)表彰式
- ◆幼稚園の日 11月5日(水)～11月9日(日) 11月8日(土)表彰式
- ※全国ポスターカードデザイン大賞は本年度Webでの開催を予定しております。作成受付は11月上旬を予定しております。

### 観覧点数(予定)

絵画:150点 彫刻:16点 デザイン:150点 写真:140点

### 入場料

一般	大・高生	中・小・幼
1000円(900円)	600円(500円)	300円(200円)

※カッパ内は前売及び20名以上の団体料金。3歳未満無料。

### 前売券取扱

チケットぴあ <https://t.pla.jp>(Pコード687-334)  
ローソンチケット <https://t.tike.com>(Lコード56943)

- 主催 公益社団法人二科会、産経新聞社
- 後援 大阪府・大阪府教育委員会・大阪市・大阪市教育委員会、サンケイスポーツ・関西テレビ放送・ラジオ大阪
- 協 力 サクラクレパス・ロジコア
- 協 賛 近鉄タクシー
- お問い合わせ 産経新聞社事業本部 TEL.06-6633-9254 (平日10:00～18:00)

### 会場

大阪市立美術館

〒543-0063 大阪府大阪市天王寺区茶臼山町

1-82(天王寺公園内)

TEL.06(6771)4874(総合受付)

※ご注意 会場入口は地下2階天王寺ギャラリーとなりま



その他関連イベントはこちら



デザイン「世界の終り」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功



デザイン「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功



写真「世界の終り」尾崎 功

## ◆ 会場の様子①



## ◆ 会場の様子②



## ◆ 会場の様子③

